

## 大分県警察へ防犯注意喚起チラシを贈呈

～全国地域安全運動に向け、悪徳災害便乗商法と特殊詐欺を注意喚起～

日本損害保険協会九州支部大分損保会(会長：木暮 賢児 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社大分支店長)では、大分県において自然災害に便乗する悪徳な保険金申請サポート業者について注意喚起するとともに、特殊詐欺を撲滅させるため、大分県警察と共同で作成した防犯注意喚起チラシ3万枚を全国地域安全運動(10月11日～20日)に向け10月5日に大分県警察へ贈呈しました。

始めに木暮損保会会長から、「大分県において、特殊詐欺に関する令和4年の被害額は増加している。また、近年は自然災害の頻発化・激甚化により、災害に便乗した悪徳な保険金申請サポート業者の活動も活発化しており、悪徳業者への高額手数料支払いにより、復旧すら思い通りにならないケースが発生している。10月11日からは全国地域安全運動が開始される。多くの県民に両事案を認知いただき、更に近隣の方にもお伝えいただくなどし、県民間の相乗的な情報連携が行われることにより、安全・安心な暮らしを守ることに繋がればと考えている。」との挨拶がありました。

引き続き、チラシを受領した大分県警察本部生活安全部 足立 竜二 部長から、「大分県内では、特殊詐欺の被害が昨年と比較し、件数で約1.3倍、被害額で約2.7倍と増加している。被害を1件でも減らすために、広く県民の皆さまに被害を認知してもらう必要がある。本日いただいたチラシは様々な場面で活用させていただき、犯罪抑止に努めていきたい。」旨、固い決意と挨拶がありました。

大分損保会では、県民の皆さまが犯罪等に巻き込まれることなく、安心・安全な暮らしができるよう、関係機関とも連携し、効果的な啓発活動に取り組んで参ります。



木暮損保会会長による挨拶



足立生活安全部長による挨拶



贈呈の様子



贈呈したチラシ



記念撮影